

# 福祉しが

278号



今回の表紙は、米原市枝折（しおり）地区で活動している地域のボランティアグループ「枝折おたすけ隊」が実施している「ほほえみカフェ」です。「誰でも、自由に好きに過ごしていただだけ、気軽に立ち寄れる場所づくり」を大切に、運営されています（詳細記事はP8「地域の動き」で掲載）。

## 〈目次〉

滋賀の縁（えにし）創造実践センターの設立	P2~3
年間特集「滋賀の福祉を支える人材の『いま』、そして『これから』」	P4~7
地域の動き（米原市・栗東市）	P8~9
滋賀県社協の事業や活動	P10~13
赤い羽根情報	P14~15
滋賀県介護・福祉人材センターが草津駅前に移転／湖北介護・福祉人材センター便り	P16

発行月 2014年(平成26年) 9月

発行 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 <http://www.shigashakyo.jp>

〒525-0072 草津市笠山7丁目8番138号 TEL 077-567-3920 FAX 077-567-3923



この広報誌は共同募金の配分を活用し、作成しています。

年間特集

# 滋賀の福祉を支える人材の「いま」、 そして「これから」

今回は『やりがいを支え働きやすい福祉の職場づくり～滋賀の未来を「介護」から  
支える人材の確保・定着に向けて～』についてお伝えします。

今回の特集では、これらの問いかけに、県内で介護人材の確保・定着育成に取り組んでいる2つの社会福祉法人、青祥会と六心会での具体的な取り組みをお話して考えていくとともに、「やりがいを支え、働きやすい福祉の職場づくり」に取り組んでいる姿も明らかにしていきたいと思えます。

前回の特集では、滋賀県で初めて開催された「しがの介護職  
場合同入職式」、介護現場の未来を支えていく新任職員を応援  
する関係者・関係機関の取り組みについて紹介しました。  
さて、介護職場に興味・関心がある高校生や大学生、また、  
その将来を応援する学校関係者、そして、現在求職中の方から、  
よくお聞きする疑問・質問があります。  
それは、  
「介護・福祉は資格・経験がないと無理な世界なのか」  
「仕事を覚えるのは大変か？不安や戸惑いはなかったか」  
「そんな時はどうしたら良いのか」  
……といった内容です。  
1つ目は、求職者だけでなく学校の先生からもよくあるもの  
で、2つ目は大学生や高校生らから寄せられる質問です。

## （社福）青祥会

### 法人概要

青祥会は、滋賀県の中でも湖北・湖東地域に活動拠点を置く法人で、病院と特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設を複数運営、職員数は900名を超え、他分野と比較しても大きな規模の法人です。

### 新人職員への先輩・同期との つながりづくり～定着支援



▲若手職員の中で資格を取得した時の声や、福祉コース以外の学校出身の職員から求職者へのメッセージなども、紹介されています。

湖東・湖北は、滋賀県の中でも少子高齢化が進んでいる地域も多く、年々人材の確保は難しくなり、青祥会では、これまでの求人やり方や内容について見直しをしていく時期にあると強い意識がありました。

### 「新卒者向け」の 求人広報を強化

そこで、5～6年前から「新卒者向け」のリーフレット（左写真）を作成し、年々改良、働いている職員の姿や生の声が見えるようにしました。今後は法人ホームページも求職者向けに発信するような内容に、リニューアルして

### 無資格・未経験者を 一から職場で教育し 支えていく

いくことも検討しています。

求人の際には、「介護の仕事に意欲・気持ちはある人を、仮に資格や経験がなくても技術は後からついてくる、それは職場で教え支えていきます」というメッセージを求職者へ伝えるとともに、法人の方針として採用をしています。

そして、入社した後は、新人職員としての教育体制として10年ほど前から導入している「プリセプター制度」(\*)によって、主任や副主任ではなく可能な限りその職員と年齢の近い職員を、1対1で選出するようにしています。

話しやすい先輩、そして身近なモデルとしてつけるとともに、プリセプターだけに新人の指導をまかせるのではなく、働くフロア全体で支援し育てていくことにも心がけています。

また、学歴や資格、個人の性格等も1人ひとり異なるため、その人その人に合わせた

(※)プリセプター制度：先輩職員が、基本は1対1で新人職員についてその教育指導にあたる制度。「教授者」：「教師」を意味する英語、「Preceptor」に由来する。

## 新人職員の時から始まる「同期会」づくり！

新人職員は誰もが最初は初心者で、無資格・未経験の人ならば尚更ですが、新人職員がまずは職場に定着することに向けて様々な支援を考えています。

青祥会では、法人主催の「新人職員研修」だけでなく、新人職員同士のつながりも強めてほしいと、1年目の新人を対象に、法人がお店を予約して業務が終わった後に、新人職員の懇親をはかる場として年に1回「同期会」を開いています。そこには理事長や副理事長も参加します。日頃はなかなか話をする機会がない経営者と直に接する場となっています。新人への声かけもしながらテーブルのあちらこちらで、にっこりと記念写真を撮るなどの光景もみられます。

職員の定着を進めるうえで“同期”の存在は非常に重要です。そういった横のつながりが新人期だけでなく、その後もずっと職員を支えていくものとなるよう、同期での集まりや活動に補助していく仕組みもつくっています。



▲新人研修終了後の茶話会で軽食をとりながら、なごやかな雰囲気の中、同期生との親睦が深められています。

女性職員から「先輩方も産休育休をとって職場復帰しているの、子育てをしながら働きやすい環境です」との話が出るように、妊娠した人の育休取得率も法人内で9割近

### 90%近くが育休制度を利用

教育スケジュールを心がけ、安心して仕事に取り組めるよう、例えば、夜勤の導入時期も採用後いつからと一律とはせず、職員個人の習熟具合をみながら設定をする等の工夫をしています。

そのほか資格取得のバックアップとして、平成22年度から法人主催で「介護福祉士受験対策講座」を実施し、職員が資格を取得することを応援しています。業務に関係する資格を取得すれば資格手当として加算されるなど、職員の

くあります。それが、職場全体としても自然なことという意識と、育休後は日勤のみの勤務とするなど、仕事と育児が両立できる体制もあり、女性職員にとって心強いサポートとなっています。

【右】 杉村篤俊さん（法人本部人事部長）  
【中】 藤井優子さん（法人本部課長）  
▼【左】 村田雅俊さん（法人本部課長）



ステップアップを目にみえる形で給与にも反映させるようにしています。

## （社福）六心会

### 法人概要

六心会は、地域〔五個荘（東近江市）〕に根づく介護施設として、特別養護老人ホームと介護老人保健施設を運営。また、今年10月より、地域密着型の特別養護老人ホームを新たにオープンする予定です。

### 新人職員のための施設全体で関わる新たな育成プログラムづくり

六心会では以前は、新人育成は配属先のリーダーに任せきりで、法人の中で人材を育てていく「仕組み」がなく、新人職員が悩みを抱えこんでしまう状況がみられました。そこで、一人ひとりがやりがいを持って長く続けてもらえるように、平成24年度より施設全体で新人職員を支え、育てる年間の『育成プログラム』をつくりました。

あらかじめ定められたスケジュールの中では、毎月1回（最初の3カ月は月2回）、新人職員同士が集まるカンファ

「認知症の方とどう接したらよいのか」、「1人で夜勤を担当するのが心配」などの不安から、実際の介護の場面で「こういう時はどうすればよいか」といったことも話し合い、まずは自分たちで考える時間をつくります。そして、この場には担当主任も同席し、それに対して経験者としてのアドバイスを行います。

さらに、同じ日の午後には「育成状況ミーティング」をおこない、午前中の新人職員の声や育成者同士で共有しています。育成者同士が悩みを語る場もきちんと確保し、プ



▲【右】 木村之晴さん（総務課長）  
【左】 中村嘉伸さん（特養生活課主任）

(※) プラザー・シスター制度・先輩職員が「プラザー」【お兄さん】・「シスター」【お姉さん】として、基本は1対1で新人職員についてその支援育成にあたる制度

## 無資格・未経験から ステップアップ！(中村嘉伸さん)

中村さんは、平成16年に六心会に入職され、現在は特養生活課の主任として勤務されています。ご自身の祖母が認知症になったことがきっかけで介護の世界に興味をもち、福祉系とは全く違う分野からこの仕事を始められ、施設で働きながら、独学で介護福祉士の資格を取得されました。

六心会では、資格の取得状況に応じて各種手当の見直しをなされ、一人ひとりのステップアップを応援することを大事にしています。「職員自身も、「何年後に自分がどういうところにいるか」をイメージできるので、日々のモチベーションにもつながっています。介護は、日々人と接する中で、たくさんの方が学べる、とても魅力ある仕事です。報酬もきちんと確保されており、また職員同士がお互いに高め合い、成長し合える関係なので、ぜひ安心してこの世界にチャレンジしてもらいたいです」とメッセージをいただきました。

中村さんは、今や3児の子育てもこなすお父さんで、いつか家族で世界旅行に行きたいとか。施設でのサポートがあるからこそ、よりいきいきと一人ひとりが輝ける職場になっているのだと感じました。



六心会では、少しでも福祉分野に興味をもち、仲間として一緒に働いてもらいたい

**入りやすく、  
続けやすい職場に**

ラーザー・シスター(※)ならではの悩みやストレスを抱え込むことのないように、施設全体で仕組化しています。このプログラムを導入以降、新人職員からは「安心できる」、「このシステムがあるから頑張れた」と声があがるなど、成果がみられました。

と、求職者を意識したメッセージを発信しています。求職者向けに作成した手作りのリーフレットでは、介護の魅力だけでなく、安心して働けるチームがあることを伝えています。また、近年はホームページにも工夫をしており、求職者向けに発信する内容が多くなっているのも特徴です。また、資格のない人でも安心してこの業界に入り、仕事を続けられるよう、介護の専門技術やスキル、社会人マナー等を学ぶ機会をつくって

います。現在では、介護福祉士の資格を取得できるよつ、シフトの調整などの応援体制を整えています。実際に無資格で入職し、介護福祉士等の資格を取得した職員も多くなります。さらに、出産等をきっかけに働き方が変わる女性職員についても、復帰後で夜勤や交代勤務が難しい時期のフォローや、子育て支援手当の支給制度などをつくり、続けやすい環境づくりに努めています。

### 福祉研修センターが開催する

## 未経験者のための「介護入門講座」

青祥会や六心会のように仕組みを定着させつつある法人もありますが、小さな事業所も多い介護の業界において、単体の法人や事業所それぞれで無資格者を支援していく仕組みを全てつくっていくには限界があります。

また、多忙な業務をこなしながら仕事を覚えていくことが求められているなかで、滋賀県社協 福祉研修センターでは、集合研修の機会として、福祉関係以外の学校新卒者やこれまでに介護現場で働いた経験がない他業界からの転職者の方を対象とした「介護入門講座」を今年4月に開催しました。

定員を大きく上回る受講申し込みがあり、受講前のアンケートでは新たに介護の職場で働き始めた中でたくさんの期待を抱いている一方、「高齢者とかかわりが今までなかった為、どのように接したらよいか困惑する」、「先輩方がしゃべっていることの意味が解ら

ないことが多い」といった不安を表す意見も多くありました。

研修では、介護職員としての職業倫理の基本を習得し、利用者の尊厳あるくらしを支える専門職であることを自覚するとともに、高齢者の特徴についての理解、現場でよく使われる基本的な用語等を学びました。

受講後アンケートには、「その人らしく、自己実現できるような支援を考えていきたい」「まだ介助等したことがないけど、まずは利用者さんとしっかりお話をし相手を知ることから始めていきたい」といった意見をたくさんいただきました。研修をとおして介護の基本を理解し、日々を冷静に振り返るとともに、仲間作りにも役立ったのではないかと考えています。



県社協の目  
column

# 「働きの場」として 変化し続けている 介護・福祉職場

2つの法人の取り組みをおし  
て、介護現場で働く人の『やりがい』  
や『やる気』を支えるフォローの体  
制やステップアップの仕組み、さら  
に職員を育てる風土・環境づくりを  
みてきました。

★介護・福祉は資格・経験がない  
と無理な世界なのか？  
★仕事を覚えるのは大変か？不安  
や戸惑いはなかったか。そんな  
時はどうしたら良いのか？

ここで、最初に紹介した介護・福  
祉の仕事・職場への疑問・質問をあ  
らためてみていくと、たしかに介  
護・福祉の仕事には専門性が必要で  
す。しかし、今回紹介したとおり  
(もちろん2つの社会福祉法人だけ  
でなく)、介護・福祉の現場には無  
資格・未経験であっても就職後に支  
えてくれる具体的な仕組みがいくつ  
もありません。

そして実際に、高校を卒業してす  
ぐに介護現場に入り、そこから介護

福祉士を取得してステップアップ  
し、学歴に関わらず、イキイキと働  
いている方も数多くおられます。

また、新人職員の定着に向けて、  
1対1で比較的年が近い先輩職員を  
つけてフォローしたり、周囲からの  
見守りを意識して心がけるなど、新  
人職員が困った時にSOSを発信す  
ることができ、それをいち早く受け  
止める等の支援も生まれています。

今後、介護・福祉の仕事はますます  
必要性が広がることから、多くの  
人材を必要としています。介護・福  
祉の仕事に興味・関心がある方、ま  
た、そういった若者の将来をサポート  
している学校関係者の方、「一歩」  
を進んでみたいと思われたら、ぜひ  
気軽に「介護・福祉人材センター」  
にお問い合わせください(本紙の裏  
表紙【16ページ】に連絡先などが詳  
しく記載されています)。

あなたの『やりがい』や『やる気』  
を支える介護・福祉職場がきつと目  
の前に広がるはずですよ。